

令和6年第10回宝達志水町教育委員会会議録要旨

開催日時 令和6年11月11日(月)
会議場所 宝達志水町生涯学習センター 2階 第一会議室
出席委員 細江教育長、西委員、大崎委員、近岡真委員、近岡宏委員
説明員 松浦学校教育課長兼小学校統合準備室長、杉谷学校教育担当課長、
宮本生涯学習課長
欠席者 なし

開 会 午前10時00分

- 1 前回会議録の承認について
会議録の内容について承認された。
- 2 教育長事務報告
会議資料により要点報告を行った。
- 3 付議議件
 - (1) 議案第22号 財産の取得（追認）について
 - (2) 議案第23号 統合小学校（押水小学校）改修工事請負変更契約の締結について
 - (3) 議案第24号 統合小学校（志桜小学校）改修工事請負変更契約の締結について
 - (4) 議案第25号 指定管理者の指定について
- 4 その他
 - (1) 小中学校長ヒアリング研修会の日程について
 - (2) 今後の日程について
松浦学校教育課長兼小学校統合準備室長が資料に基づき説明を行った。

(委員の意見等)

質問	近岡真委員（2 教育長事務報告） ○ツエーゲン金沢授業サポート事業について、閉校する学校で行ったのか。
回答	細江教育長 ○全小学校で1回ずつ行った。
質問	近岡真委員（3 議件） ○統合小学校（押水小学校）の変更工事概要について、前回の資料では暖房

	機器の入れ替えという項目があったが、今回は入っていない。
回答	松浦学校教育課長兼小学校統合準備室長 ○事前に配布した工事概要は、配付時点では工事内容がまだ明確ではなかったため、1回目の工事内容を記載して配付している。今回配付した資料が正式な工事内容である。
質問	大崎委員（3 議件） ○統合小学校改修工事請負変更契約について、今後、更にまた変更すること はあり得るか。
回答	松浦学校教育課長兼小学校統合準備室長 ○突発的なことがない限り今後は発生しない。
質問	西委員（3 議件） ○指定管理者の指定について、今まではどうしていたのか。
回答	宮本生涯学習課長 ○10 年程前から指定しており、1 回 3 年間で、今回は 3 回目の更新である。
質問	大崎委員（4 その他） ○ヒルクライムはまた実施しないのか。 ○アサギマダラの調査を小学校で最近していない。事業として残すもの、残 さないものをしっかり考えていかなければならない。
回答	宮本生涯学習課長 ○ヒルクライムを開催するにあたり、実行委員会事務局は宝スポである。組 織として石川県の自転車連盟からの構成員が 4 名程いたが、現状 2 名しかい ないため、実質活動ができていない。また、国際サイクルという自転車専門 学校が閉校となり、その学生たちの支援が受けられず、開催できない状況と なった。また、今では同じ時期にマラソン大会もあるため、事務局としては 両事業の開催ではなく、マラソン大会に集中している。今後はヒルクライム ができるかどうか、頭の片隅に置いておく。
回答	杉谷担当課長 ○アサギマダラのマーキング活動は、統合後の落ち着いた時期に、総合的な 学習の時間、地域の学び、ふるさと教育という形で取り組めるかどうか精 査していきたい。
質問	近岡真委員（4 その他） ○教育ウイークにおいては、様々な工夫があり、学校への愛着を感じられた。 この熱い思いを統合に繋げていけたら良い。 ○町の踊りがあったら良い。 ○ティラノサウルスレースのようなイベントも続けて欲しい。 ○今の学校の状態、不登校の状況は改善されたか。 ○熊について、なにかあれば教えて欲しい。
回答	宮本生涯学習課長 ○町の文化祭について、公民館事業は社会教育関係の事業であり、貴重なご

	意見を今後いかしていきたい。
回答	杉谷担当課長 ○教育ウイークについて、大変盛況に学校公開がされた。地域あつての学校であるため、地域に開放しながら学校の様子を見ていただくことは新しい学校になっても続けていかなければならない。学校と地域が一体となって進めていくコミュニティ・スクールという形で来年度、小学校で進め、地域と学校が根強くタッグを組んでいくため、皆様方にお力添えをいただきたい。 ○統合をあと5か月に控えての学校の状態について、現在、志雄地区、押水地区においては、5年生以下、各学年で交流を計画的に進めている。必要な経費については学校の要望に従って、できるだけ予算をたてて交流の回数を増やし、4月1日をとても良い状態で統合できるように進めている。 ○不登校児童生徒の現状について、再登校5名、気になる生徒も不登校月報にあげており、10月末までで8日間欠席という児童もいる。保護者と担任が連携を取りながら、学校に足が向くような形で支えていく。また、登校を渋る生徒も一部見られる。児童生徒支援加配という加配教員がいるので、不登校に尽力していただき、なんとか居心地の良い学校づくりをと、保護者、担任と連携する。学校には別室も当然あり、授業になかなか入りづらいのであれば、まず学校に来て別室にいて、ハードルを下げていく。また、10月より勤労者青少年ホームにて適応教室が始まったが、現在申し込みはない。学校では都度、保護者への情報提供をしている。 ○熊について、各学校からもきめ細やかな注意喚起、登下校に伴う保護者の送迎の案内をしている。また、10月からは町学校教育課からも各学校に一斉メールできることになり、案内が重なっても情報提供をしている。
質問	細江教育長（4 その他） ○12月12日、全小学校の5・6年生で行われるミニ運動会について
回答	杉谷担当課長 ○ミニ運動会は、町総合体育館で開催され、リレーは学校対抗、その他の種目は統合小学校対抗。目的は、最高学年6年生の素晴らしい姿を5年生が学び、それを受けて統合小学校の最高学年のリーダーになり、また、6年生は小学校最後なのでここで一生懸命やる姿をしっかりと後輩に見せ、中学校で新しいメンバーで学校を進めていく。
意見	細江教育長（4 その他） ○CSマイスターによるコミュニティ・スクール事業説明会について、教育委員も都合が付けば参加をお願いする。
質問	近岡宏委員（4 その他） ○震災で移住した子どもはいるか、また学校になじんで元気にしているか。 ○教員の不祥事を防止するためのコンプライアンス研修等の対策はあるか。
回答	杉谷担当課長 ○震災で移住した子どもはいる。住所を変えない区域外通学での受け入れも

	あり、住所を変えて転校した場合もある。子どもたちは安定して、なじみ、本町の児童と変わらず一生懸命学びを進めている。 ○教員の不祥事については、都度、綱紀粛正として、コンプライアンス研修の場を各校長が設定して指導している。
質問	西委員（４ その他） ○養護教員の数について、今の学校の規模では１人だけなのか。 ○国際交流の参加人数が増える取り組みを検討しているか。 ○ヌーサともＷｅｂで交流できないか。
回答	杉谷担当課長 ○養護教諭の配置について、法令上、本町では統合後も１名にしかない。
回答	宮本生涯学習課長 ○国際交流の参加人数について、早い段階から中学校と協力し、また、小学生に対しても働きかけをしていく。 ○ヌーサの学校とのＷｅｂ交流について、学校教育課、生涯学習課、中学校と連携協力して進めていく。
回答	杉谷担当課長 ○ヌーサとのＷｅｂ交流については、時差の関係や、学校のカリキュラムの問題があるため、何ができるかを調整していかなければならない。
意見	大崎委員（４ その他） ○教育ウイークについて、どこの学校も統合を控えて忙しい中、熱心にやっていた。特に志雄小学校は工事中であるが落ち着いて取り組んでいたことが素晴らしく、こういう学校が統合して核となるのは良いことだ。 ○宝たちビジネスアカデミー事業について、仕事について子どもたちが一所懸命であった。 ○１年生について、１学期は授業を聞く態度がフワフワとしていたが、今は落ち着いており、先生がしっかりと指導されたのだと感じた。 ○東大セミナーについて、カリキュラムの中に位置づけたことによりこれまで自主的に参加しなかった生徒も聞くことができた。 ○下呂市との交流について、今後も継続して欲しい。

閉 会 午前１０時１０分